

令和 4 年度 第 2 回沖縄県がん診療連携協議会 ベンチマーク部会 議事要旨

開催日時：令和 4 年 12 月 23 日(金) 9:00~10:10

開催場所：Zoom を利用した Web 会議

参加者：8 名

井岡亜希子(まるレディースクリニック院長)、伊藤ゆり(大阪医科大学研究支援センター医療統計室室長・准教授)、埴岡健一(国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科教授)、東尚弘(国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター長)、平田哲生(琉球大学病院診療情報管理センター長)、伊佐奈々(琉球大学病院がんセンター・診療情報管理士)、増田昌人(琉球大学病院がんセンター長)、有賀拓郎(琉球大学病院診療情報管理センター副センター長)

欠席者：1 名

天野慎介(全国がん患者団体連合会理事長)

陪 席：1 名

並里亜衣(琉球大学病院がんセンター)

《報告事項》

1. 令和 4 年度 第 1 回ベンチマーク部会 議事要旨について

増田委員より資料 1 に基づき、第 1 回ベンチマーク部会 議事要旨について説明があった。

2. その他

特になし。

《協議事項》

1. 医療者調査の内容について

増田委員より資料 2 に基づき、医療者調査案について前回はアンケートへ 3 つ(問 29~31)の設問を新たに加えたとの説明があった。Web で調査を行う場合は、所属施設別のアンケートも必要になるとの説明があった。また問 15「がん診療拠点病院、がん診療病院についてお尋ねします」へ修正するとの説明があった。

埴岡委員より評価の為のものになっているのか少し分かりにくく、分野として抜けがあるのではないかとコメントがあった。また持ち場を聞くことに意義があるのではないかと意見があった。

東委員より、内容について回答者に直に意見を聞いたかとの質問があった。「拠点の役割を果たしていると思いますか」という設問は連携の為に重要だが、分かりづらいの

ではないかとの意見があった。

有賀委員より、適切な回答数について質問があった。埴岡委員より、沖縄には回答率が高いという実績がある為、質問数を増やしても大丈夫ではないか、かつ Web 調査にすれば負担が軽減するのではないかとのコメントがあった。

東委員より、レイアウトに関して圧迫感があるのではないかとの意見があった。またリッカートスケールにするかどうか検討しなければならないとのコメントがあった。

伊藤委員より、問 21 の苦痛のスクリーニングに関する設問についてスクリーニング後の展開について質問を加えてはどうかと。社会的苦痛についても含めて聞いてはどうか。就労支援に関する質問についても具体的な問いにしてはどうか等の意見があった。質問事項に関して、施設に対して聞く質問と個人に聞く質問が混在している為、個人に対する質問に絞ってはどうかとのコメントがあった。また今回出た案で修正し、できたものを身近な臨床医に回答してもらって意見をもらってはどうかとの意見があった。

埴岡委員より、20 個は 8 分野に関する質問を 2-3 個ずつ、残り 10 個はアクションベースの質問(妊孕性に関すること等)を入れてはどうかとの意見があった。

東委員より質問事項について、質問をブロックごとに分けた方がいいのではないかとの意見があった。問題を追加するには、パイロットをして回答者がどう考えているかを把握すべきであるとの意見があった。

井岡委員より、施設に関しては現況報告書からとれるので、アンケートは個人に対する質問にしてはどうかとの意見があった。また選択肢の数についても、比較できるようそろえた方がいいのではないかとの意見があった。

2. Web アンケートについて

増田委員より資料 3 に基づき、Web アンケートを実施するとの説明があった。Web アンケートは Google フォームを利用して進めることとなった。

3. 調査対象者の人数について

増田委員より資料 4 に基づき、前回の配布人数と現在のがん診療を行う施設の医師数・看護師数・薬剤師数について説明があった。配布人数については次回の部会にて協議することとなった。

4. 第 4 次沖縄県がん対策推進計画について

増田委員より 2 月の協議会にて第 4 次がん計画案を作成するとの説明があった。来年の 4 月か 5 月までに県へ提出できるようすすめていくとの説明があった。

5. 次回ベンチマーク部会開催日程について

増田委員より3月頃まで毎月1回Zoomを利用したWeb会議を開催するとの説明があった。

6. その他

①部会・副部長について

今年度の部会長は増田委員、副部長は埴岡委員に決定した。